

会長挨拶

3月に入り、まだまだ寒い日が続いておりますが、皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのことと思います。

さて令和6年度を振り返りますと、会員の皆様には6月22日総会、10月27日丹波の森フェスティバルに参加、3月23日においてはヨーロッパ発祥のスポーツである「ボッチャ」を体験していただきました。自主活動による運営となり、新規入会者が望めないことを鑑みても一定の成果が得られたかと思えます。参加された皆様には厚く感謝申し上げます。

丹波OB会として、地域に根ざした色々な活動を行っておりますので、これに参加したい等々、興味のある方はぜひご参加ください。入会はいつでもできますので、ご連絡お待ちしております。



丹波OB会
北山 弘義会長

総会・マグネットを使った小物づくり

令和6年6月22日(土) 丹波の森公苑 会議室3

1.総会

- (1)令和5年度活動報告
- (2)令和5年度決算報告及び監査報告
- (3)新幹事、三役について
- (4)令和6年度事業計画(案)
- (5)令和6年度予算(案)
- (6)丹波OB会会則変更



前年度に引き続き、会長に北山弘義氏。副会長(会計)増南文子氏が再任。

今年度より副会長職の2名を1名に減らし、補佐的な役職として筆頭幹事職を岸孝明氏にお願いし、了承を得る。

2023年10月20日(金)足立敏行さん(訃報)に伴い、2024年5月10日(金)第1回幹事会にて(故 足立 敏行氏)柏原地域副幹事の後任を受けました。

元々は足立氏とのご縁で、お茶会に同席してからころ豊かな人づくり500人委員育成事業「青少年サポートセミナー」に参加、足立氏の想いが今も…

2.交流会

総会終了後「マグネットを使った小物づくり」を行いました。

布に3つの円が描かれており、その線に沿って切り抜き、厚紙も同様に6.5cmの円に切り抜く。厚紙を大サイズの布で包み、針と糸で縫い、これを裏面とします。小サイズの布にマグネットを付け、裏面と合わせます。最後にキャップの上に綿を置き、中サイズの布で包みます。先ほどのものと接着剤で合わせて完成です。70代の我々にはさほど難しいことはありません。両親共働きで多少の経験を積んでおりました。男性が難しいのは可愛い布柄ですね。

【材料】9.5cm(大)、7.5cm(中)、3.7cm(小)の布、厚紙、500mlより大きいサイズのペットボトルのキャップ、手芸用の接着剤、キャップを覆う綿、マグネット

【道具】裁縫道具：針、白と黒の糸、ハサミ等



柏原地区 是枝 博昭

丹波の森若者塾 合同フォーラム

令和7年2月1日(土) 丹波の森公苑 多目的ルーム

去る2月1日(土)の午後1時半から丹波の森公苑多目的ルームにて丹波地域の5高校(県立柏原高校欠席)がこの1年取り組んだ研究成果を発表した。

テーマは、県立篠山鳳鳴高校が「夕日の色と光の三原色の関係について」、県立篠山産業高校が「SDGs(持続可能な発展目標)を学び、考えを広める」、県立篠山東雲高校が「農業を利用したまちなみの環境保全」、県立氷上西高校が「関西大学佐治スタジオと連携して地域活性化に取り組む」、県立氷上高校が「サラダチキン塩麹の商品開発～ひかみ菌の有用性分析」と各高校の特徴を生かした多彩な内容であった。



氷上西高校 ひかみ菌を使ったサラダチキンの製造

丹波の森若者塾は、平成21年に丹波県民局が大学のない丹波地域の高校生に高大連携により大学の研究手法やノウハウを体得させる事業を企画、丹波青少年本部と神戸大学篠山フィールドステーションと地元有志(500人委員会丹波OB会等)が協力して実務を担い、真南条営農組合が神戸大学の開発したネオデリシヤスという赤いジャガイモの商品化策を篠山市内の高校生と神戸大学生が受託・協働して『赤ジャガプロジェクト』として取り組んだ事を嚆矢(こうし)とする。その内容が素晴らしかったので丹波青少年本部長賞授賞式にこれらの高校生に研究成果を発表してもらったところ大好評を得た。以来、丹波地域6高校と大学との協働事業を「丹波の森若者塾合同フォーラム」の名で発表してきた。

その経緯から高大連携の成果発表がこのフォーラムの目的であるのに、近年、大学側との協力姿勢が薄れ高校生だけの活動成果発表会的色彩が強い気がする。そんな中、氷上高校の東洋食品工業短大とのコラボ事業の成果は趣旨に合致した秀逸なもので、また、氷上西高校の取り組みも良い内容であると感じた。

柏原地区 岸 孝明

丹波の森フェスティバル

令和6年10月27日(日) 丹波の森公苑

暑い暑い夏が終わり、やっと秋らしくなった10月27日「丹波の森フェスティバル」に久しぶりに参加できました。随分変わったな！と感じました。

私達のブースでは「クリアファイルを使った折り紙ケースづくり」を体験して頂くというコーナーです。一週間ほど前に、下準備として会員の方にも作り方を増南副会長に教えて頂き、とっても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。多くの準備をして頂いた副会長のご苦勞に感謝しています。

当日、開催時間が過ぎても私たちのブースには人が来られず、準備万端で体験して頂く人を待っていました。奥の院で場所が悪いのかしら？早く誰か来てほしいなと思いつつ、半時間ほど過ぎた頃、小学生2人の姉妹、一年生の男の子、遠くから参加の子供達と次々と来て頂きました。



静かであり工作がお好きでは無い様にお見受けしましたが、以外な事にこだわりが強く、両面テープの使い方も上手で手早く仕上げ、とっても満足されていました。

「ありがとう」「楽しかった」と言って頂きました。「こんな良い入れ物が出来たら折り紙の整理が出来るわ」「シワにならずに置いとけるわ」「お金はいらないの？」と口々に言い、喜んで帰られました。参加者がもう少し多ければ、良さを多くの人に知って頂けたのにと残念に思います。

お家に持ち帰られた方々、折り鶴など作られているのかな？私のは孫が喜んで横浜、西宮へ持ち帰りました。私達も美しい折り紙で何を作っているのかな？と思い、丹波の森フェスティバルの日を懐かしく思う今日この頃です。



青垣地区 小寺 登代子